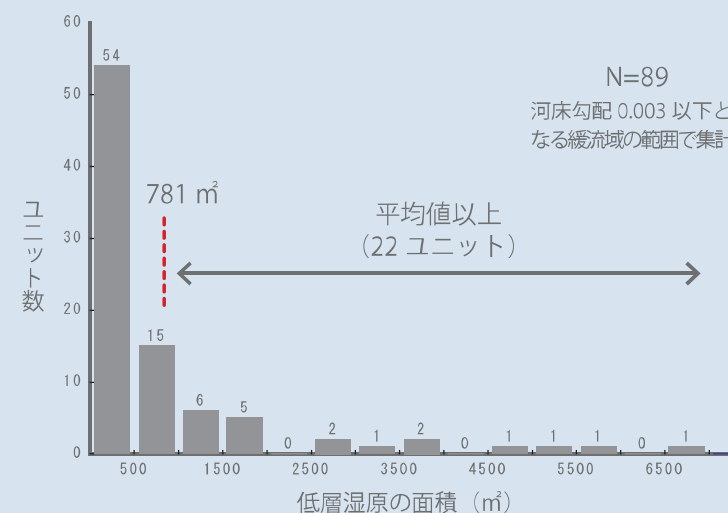
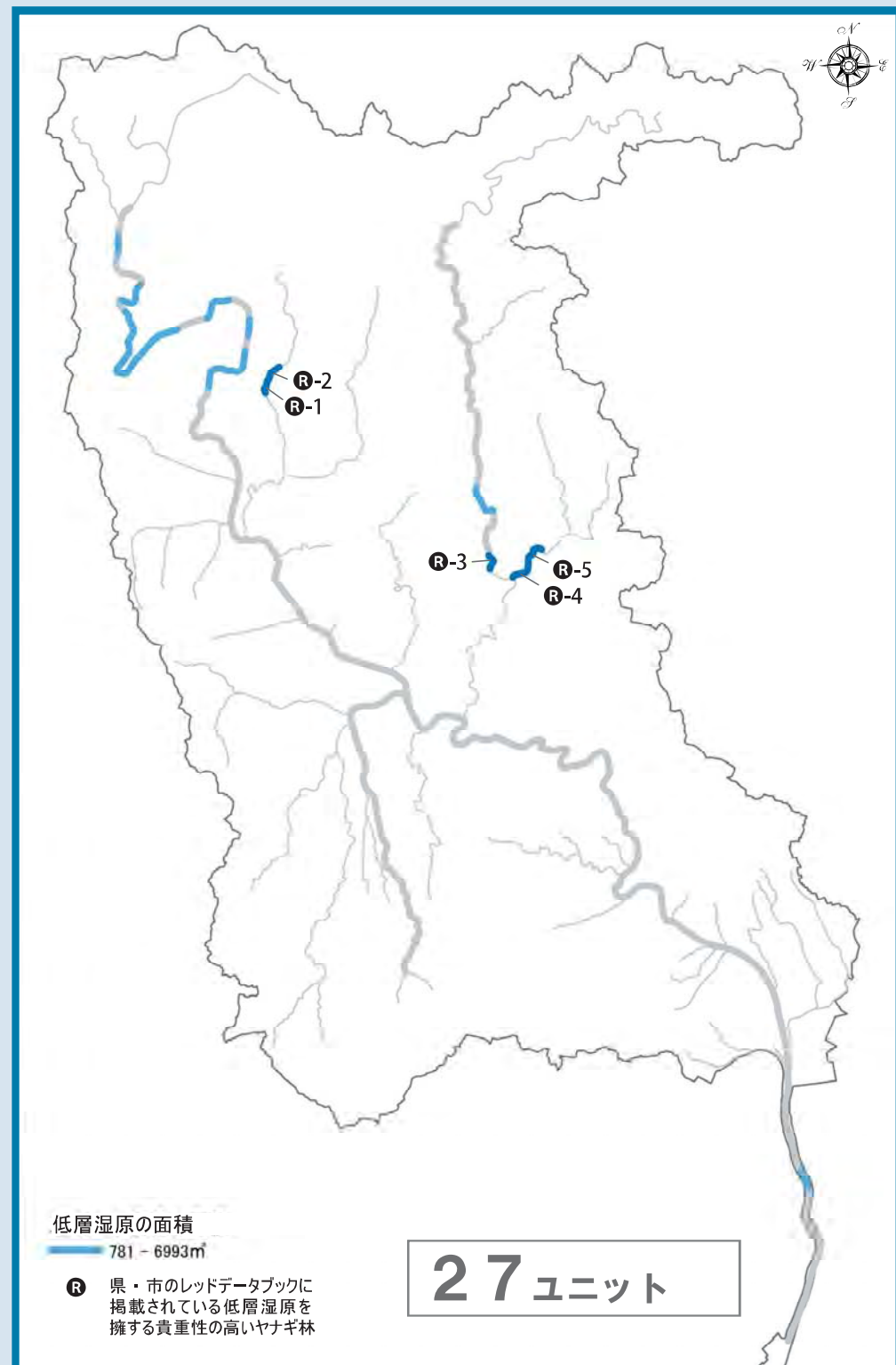


## 視点 5 生息場所の広がり

### 5-1 広がりのある低層湿原とヤナギ林

環境要因：低層湿原の面積、低層湿原を擁する貴重性の高いヤナギ林の分布 生物指標：—

#### 優れた「生物の生活空間」の範囲の抽出



- ① 広がりのある低層湿原のある場所を低層湿原の面積により、ユニットごとに評価。
- ② 低層湿原の面積が緩流域の全ユニットの平均値 (781 m<sup>2</sup>) 以上となるユニットを抽出。(22 ユニット)
- ③ 県・市のレッドデータブックに掲載されている低層湿原を擁し、貴重性の高いヤナギ林が存在するユニットを抽出。(5 ユニット)
- ④ ②または③のユニットを優れた「生物の生活空間」として抽出。(27 ユニット)

抽出した場所の特徴 低層湿原と低層湿原を擁する貴重性の高いヤナギ林のある場所

県・市のレッドデータブックに掲載されている低層湿原を擁するヤナギ林

No.	関連する植物群落・生態系 RDB			
	RDB	指定の対象	ヤナギ林等	ランク
R-1,-2	兵庫県 RDB	河辺植物群落	アカメヤナギ-ジャヤナギ群集	C
	三田市 RDB	湿性林 (小生態系)	ハンノキ群落	C
		河川 (小生態系)		C
		河川・峡谷 (中生態系)		A
R-3	宝塚市 RDB	河川 (小生態系)	アカメヤナギ-ジャヤナギ群集	B
R-4,-5	宝塚市 RDB	河川 (小生態系)	アカメヤナギ-ジャヤナギ群集	B

\* 兵庫県 RDB：「兵庫の貴重な自然～兵庫県版レッドデータブック～」(兵庫県, 2003)

\* 三田市 RDB：「未来に伝えたい三田の自然～生態系レッドデータブック～」(三田市, 2003)

\* 宝塚市 RDB：「宝塚市生態系レッドデータブック」(宝塚市, 2000)

#### \* 低層湿原

- ・低層湿原は、流れの緩やかな水域およびその周辺部に成立する河川を代表する植生であり、ここでは「ひょうごの川自然環境調査」(兵庫県, 2004) で確認されているヨシ群落、エゾノサヤヌカグサ群落、カサスゲ群落、ガマ群落、クサヨシ-セリ群集、サンカクイ群落、シロネ群落、マコモ-ウキヤガラ群集のことをいう。
- ・レッドデータブックに掲載される、低層湿原を擁し、低層湿原と一体となって貴重な生態系を形成しているヤナギ林を低層湿原とともに評価した。



マコモ-ウキヤガラ群集

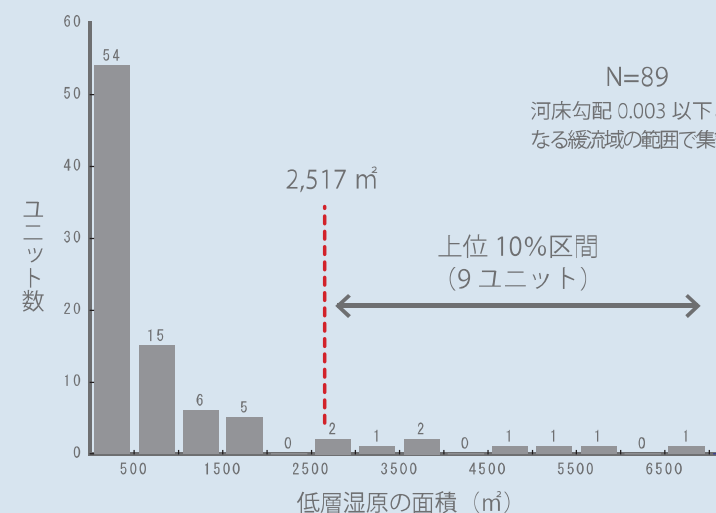
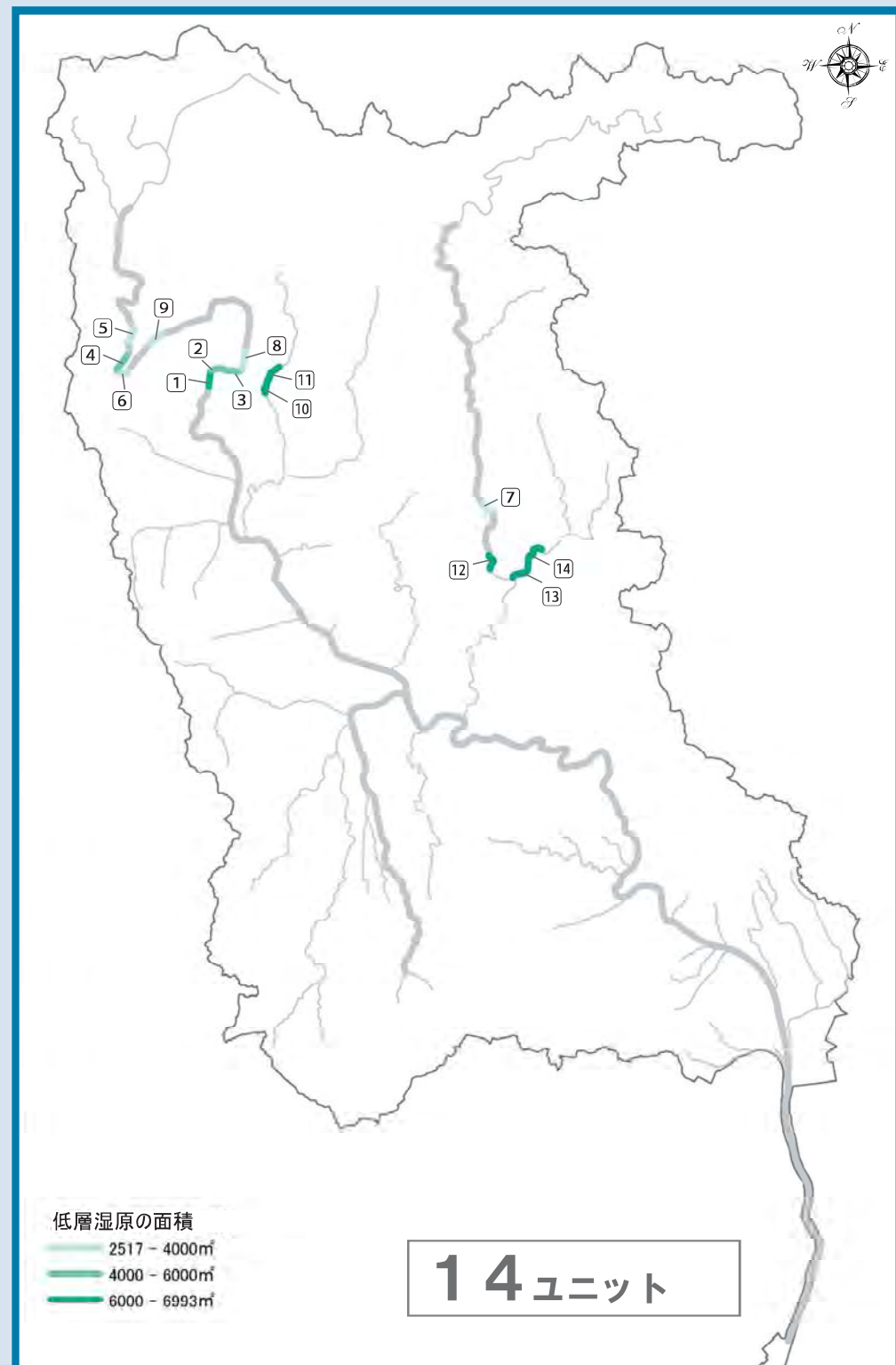
\* 低層湿原と低層湿原を擁する貴重性の高いヤナギ林のある場所

# 視点 5 生息場所の広がり

## 5-1 広がりのある低層湿原とヤナギ林

環境要因：低層湿原の面積、低層湿原を擁する貴重性の高いヤナギ林の分布 生物指標：-

### ■ 中核的な範囲の特定

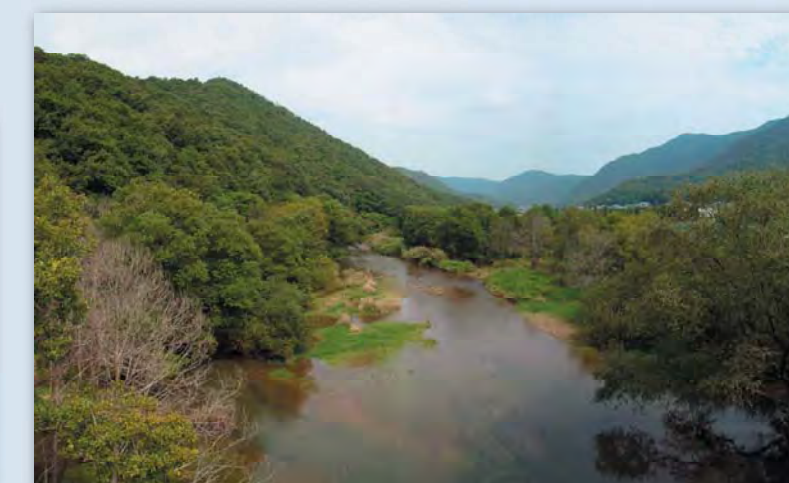


- ① 低層湿原の面積とユニット数との関係から、上位 10% 区間に相当する面積 (2,517 m<sup>2</sup>) を求め、この面積以上のユニットを抽出。(9 ユニット)
- ② 県・市のレッドデータブックに掲載されている低層湿原を擁し、貴重性の高いヤナギ林が存在するユニットを抽出。(5 ユニット)
- ③ ①または②のユニットを中核的な範囲とし、総量は 14 ユニットとした。

特定した場所の特徴 広がりのある低層湿原と低層湿原を擁する貴重性の高いヤナギ林のある場所



No. 1 の広がりのある低層湿原



No. 10,11 の低層湿原を擁する貴重性の高いヤナギ林

中核的な範囲における低層湿原の面積 (m<sup>2</sup>)

No.	ヨシ群落	エゾノサヤヌカグサ群落	カサスゲ群落	ガマ群落	クサヨシ-セリ群集	サンカクイ群落	シロネ群落	マコモ-ウキヤガラ群集	全群落計
1								6,993	6,993
2					97			5,594	5,691
3				1,233				4,082	5,315
4								4,675	4,675
5						3,359		243	3,602
6		262						3,288	3,550
7					346			3,137	3,483
8								2,524	2,524
9					16			2,501	2,517

県・市のレッドデータブックに掲載されている低層湿原を擁するヤナギ林

No.	RDB	関連する植物群落・生態系 RDB		ランク
		指定の対象	ヤナギ林等	
10,11	兵庫県 RDB 三田市 RDB	河辺植物群落	アカメヤナギ-ジャヤナギ群集	C
		湿性林 (小生態系)	ハンノキ群落	C
		河川 (小生態系)		C
12	宝塚市 RDB	河川 (小生態系)	アカメヤナギ-ジャヤナギ群集	B
13,14	宝塚市 RDB	河川 (小生態系)	アカメヤナギ-ジャヤナギ群集	B

- \* 兵庫県 RDB：「兵庫の貴重な自然～兵庫県版レッドデータブック～」(兵庫県, 2003)
- \* 三田市 RDB：「未来に伝えたい三田の自然～生態系レッドデータブック～」(三田市, 2003)
- \* 宝塚市 RDB：「宝塚市生態系レッドデータブック」(宝塚市, 2000)

\* 広がりのある低層湿原と低層湿原を擁する貴重性の高いヤナギ林のある場所

## 視点 5 生息場所の広がり

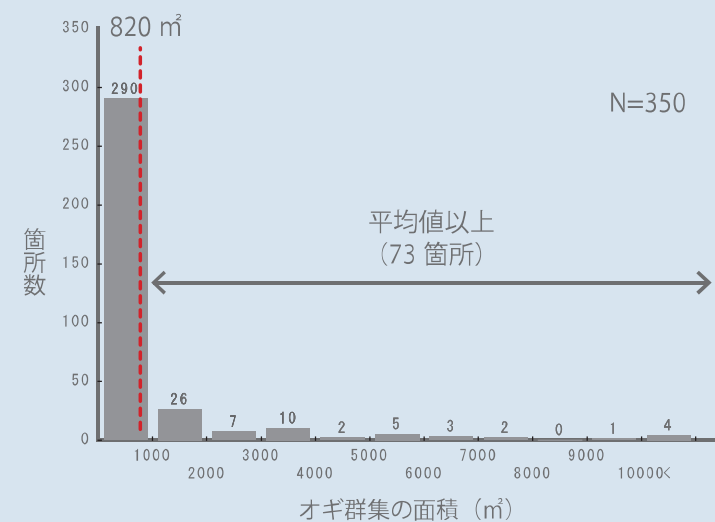
### 5-2 広がりのあるオギ群集

環境要因：オギ群集の面積 生物指標：—

#### ■ 優れた「生物の生活空間」の範囲の抽出



\* オギ群集のある場所



- ① 広がりのあるオギ群集のある場所をオギ群集の面積により箇所ごとに評価。
- ② オギ群集の面積が全箇所の平均値 (820 m<sup>2</sup>) 以上となる箇所を優れた「生物の生活空間」として抽出。(73 箇所)

抽出した場所の特徴 **オギ群集のある場所**



オギ群集

\* オギ群集

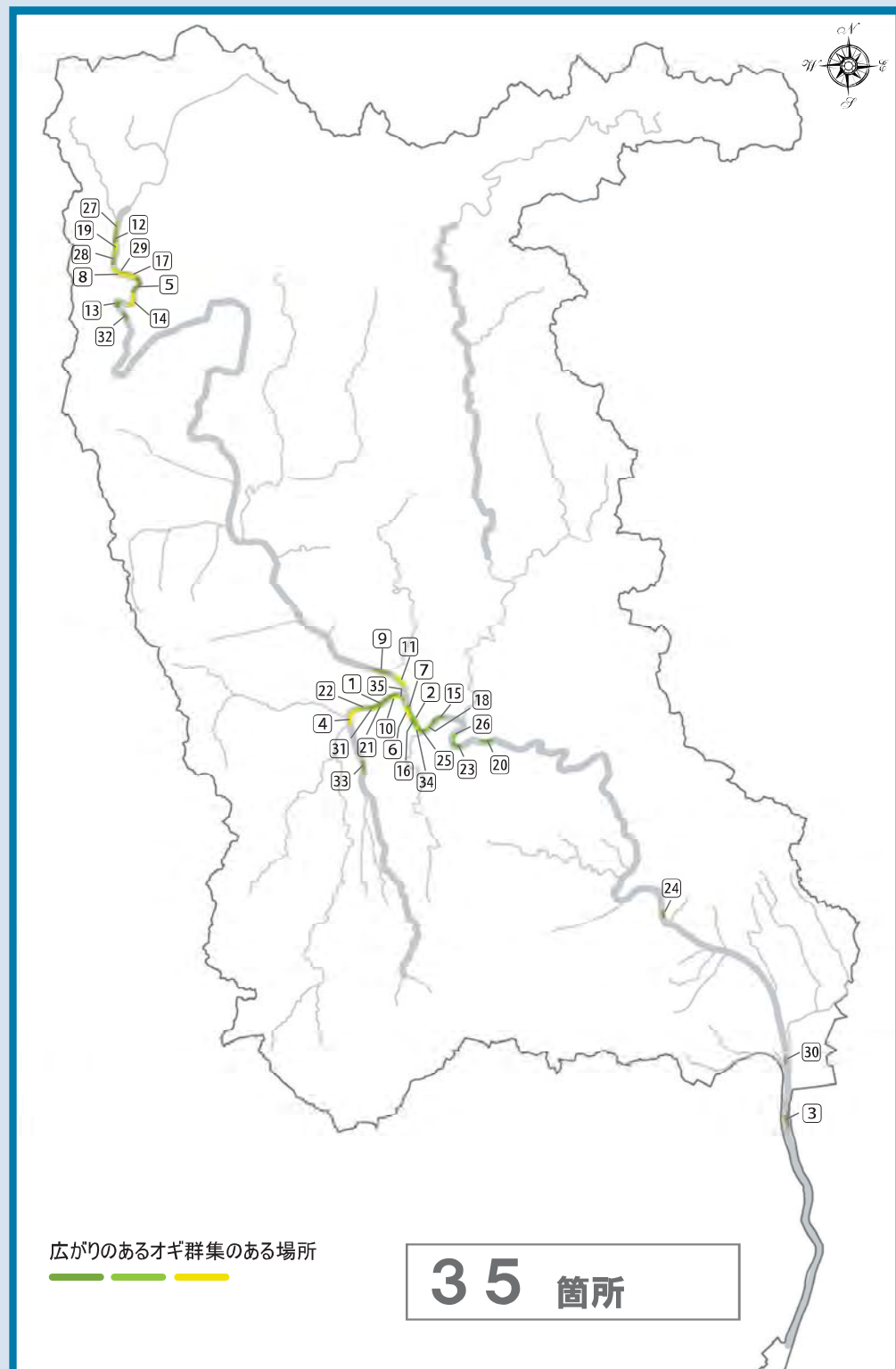
- ・オギ群集は、下流から中流域にかけての河川景観を代表するイネ科の多年生草本群落であり、水面からの比高が高い砂質の立地に成立する。

# 視点 5 生息場所の広がり

## 5-2 広がりのあるオギ群集

環境要因：オギ群集の面積 生物指標：-

### 中核的な範囲の特定

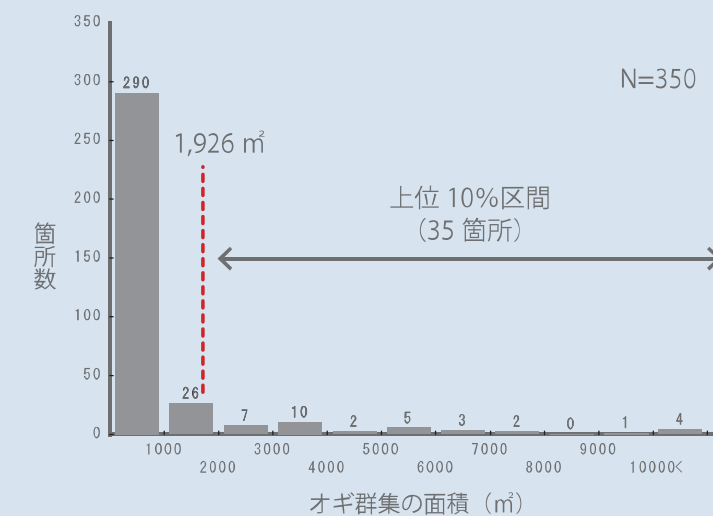


\* 広がりのあるオギ群集のある場所

中核的な範囲におけるオギ群集の面積

No.	面積(m <sup>2</sup> )	県内順位	関連する生態系RDB		
			RDB	指定の対象	ランク
1	17,353	8			
2	12,373	23			
3	11,404	29			
4	11,212	30			
5	9,991	35			
6	7,841	59			
7	7,391	66			
8	6,801	73			
9	6,730	76			
10	6,538	78			
11	5,917	90	三田市RDB	河川(小生態系)	C
12	5,625	98			
13	5,615	99			
14	5,187	110			
15	5,184	111			
16	4,958	120			
17	4,004	150			
18	3,761	166			
19	3,598	175			
20	3,530	188			
21	3,409	196			
22	3,380	201			
23	3,300	206			
24	3,240	215			
25	3,232	217			
26	3,095	226			
27	3,054	231			
28	2,937	240			
29	2,900	245			
30	2,699	262			
31	2,680	264			
32	2,649	268			
33	2,331	305			
34	2,073	332			
35	1,926	361			

\* 三田市 RDB：「未来に伝えたい三田の自然～生態系レッドデータブック～」(三田市, 2003)



- ① オギ群集の面積と箇所数との関係から、上位10%区間に相当する面積(1,926 m<sup>2</sup>)を算出。
- ② ①の面積以上の箇所を中核的な範囲とし、総量は35箇所とした。

特定した場所の特徴 **広がりのあるオギ群集のある場所**



No. 1 の広がりのあるオギ群集



No. 5,14 の広がりのあるオギ群集

## 視点5 生息場所の広がり

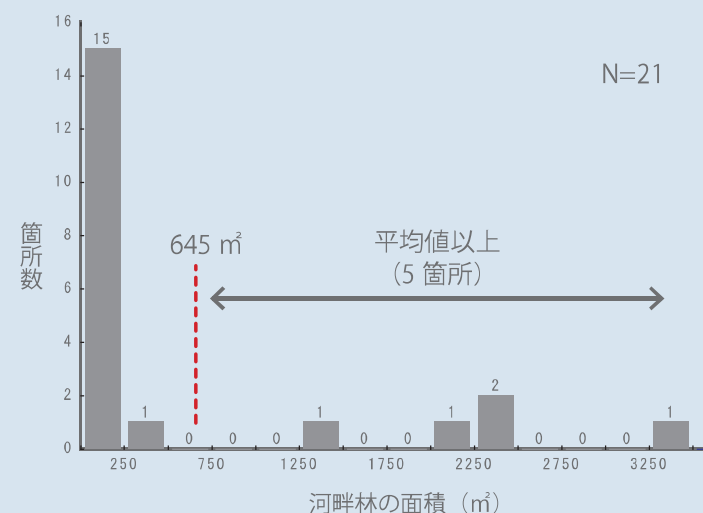
### 5-3 広がりのある河畔林

環境要因：河畔林の面積，貴重性の高い河畔林の分布 生物指標：-

#### ■ 優れた「生物の生活空間」の範囲の抽出



\* 河畔林のある場所



- ① 広がりのある河畔林のある場所を河畔林（アキニレ群落）の面積により箇所ごとに評価。
- ② 河畔林の面積が全箇所の平均値（645 m<sup>2</sup>）以上となる箇所を抽出。（5箇所）
- ③ 市のレッドデータブックに掲載されている貴重性の高い河畔林を抽出。（1箇所）
- ④ ②または③の河畔林を優れた「生物の生活空間」の範囲として抽出。（6箇所）

抽出した場所の特徴 河畔林のある場所



河畔林

市のレッドデータブックに掲載されている河畔林

No.	関連する植物群落・生態系 RDB			
	河畔林	RDB	指定の対象	ランク
Ⓡ	エノキ-ムクノキ群集	宝塚市 RDB	河川（小生態系）	C

\* 宝塚市 RDB：「宝塚市生態系レッドデータブック」（宝塚市，2000）

\* 河畔林

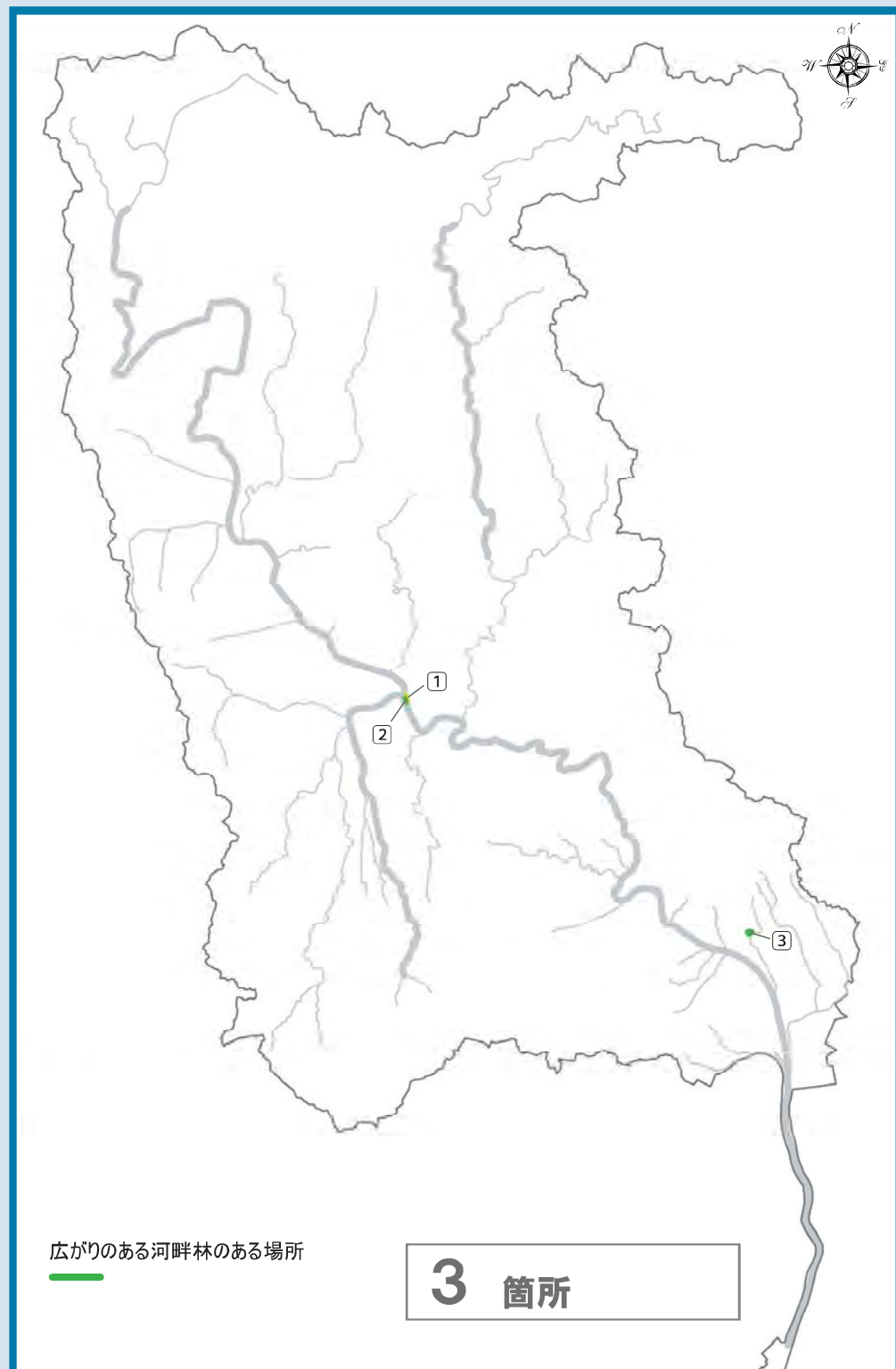
- ・ 河畔林は、水面からの比高の高い適湿な立地に成立する夏緑林であり、ここでは「ひょうごの川自然環境調査」（兵庫県，2004）で確認されているアキニレ群落、市のレッドデータブックに掲載されているエノキ-ムクノキ群集のことをいう。

## 視点 5 生息場所の広がり

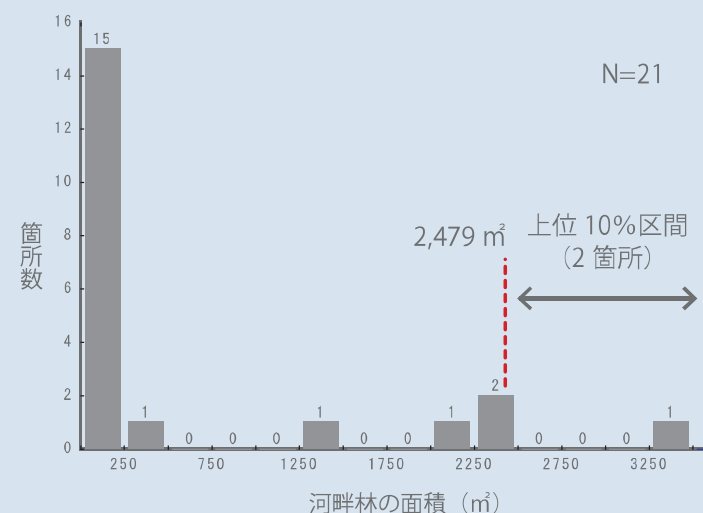
### 5-3 広がりのある河畔林

環境要因：河畔林の面積，貴重性の高い河畔林の分布 生物指標：-

#### ■ 中核的な範囲の特定



\* 広がりのある河畔林のある場所



- ① 河畔林の面積と箇所数との関係から上位 10% 区間に相当する面積 (2,479 m<sup>2</sup>) を求め、この面積以上の河畔林を抽出。(2 箇所)
- ② 市のレッドデータブックに掲載されている貴重性の高い河畔林を抽出。(1 箇所)
- ③ ①または②の河畔林を中核的な範囲とし、総量は 3 箇所とした。



No.3 の広がりのある河畔林 (大堀川)

特定した場所の特徴 **広がりのある河畔林のある場所**

中核的な範囲における河畔林の面積及び市のレッドデータブックに掲載されている河畔林

No.	河畔林	面積(m <sup>2</sup> )	県内順位	関連する植物群落・生態系RDB		
				RDB	指定の対象	ランク
1	アキニレ群落	3,255	51			
2	アキニレ群落	2,479	72			
3	エノキ・ムクノキ群集	-	-	宝塚市RDB	河川(小生態系)	C

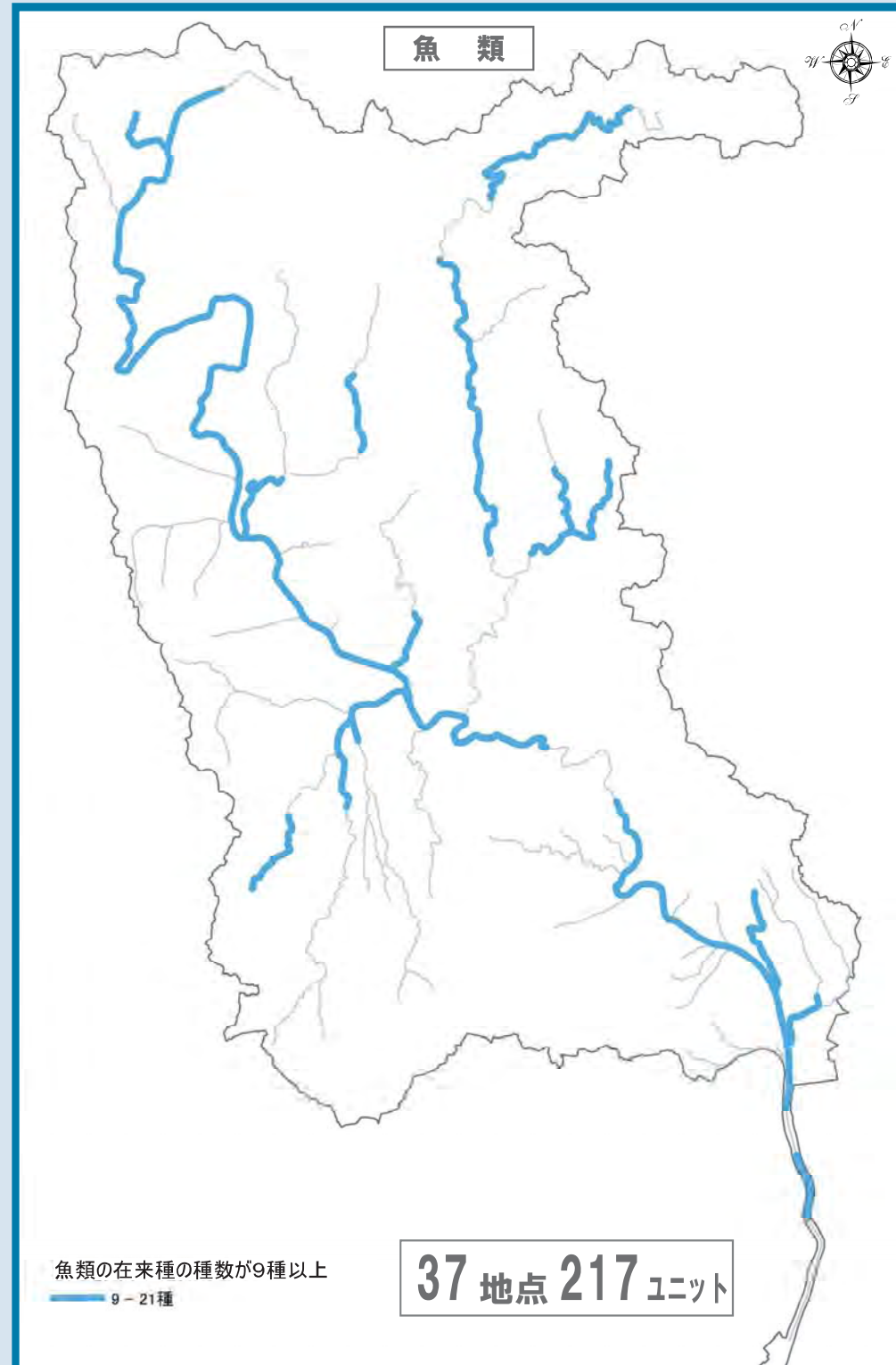
\* 宝塚市 RDB：「宝塚市生態系レッドデータブック」(宝塚市，2000)

# 視点 6 多様性

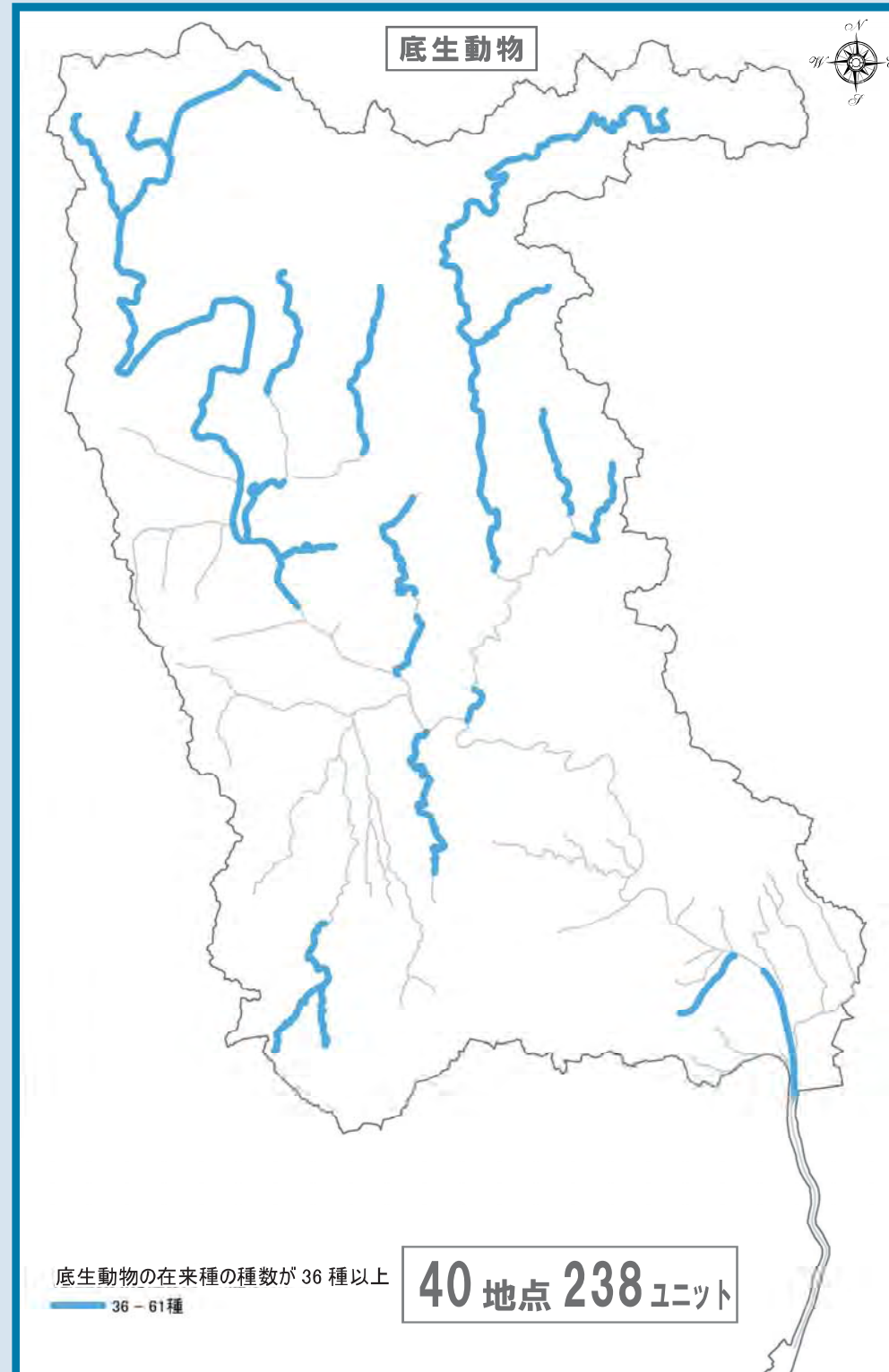
## 6-1 在来種が多く生息する場所

環境要因：－ 生物指標：在来種の種数

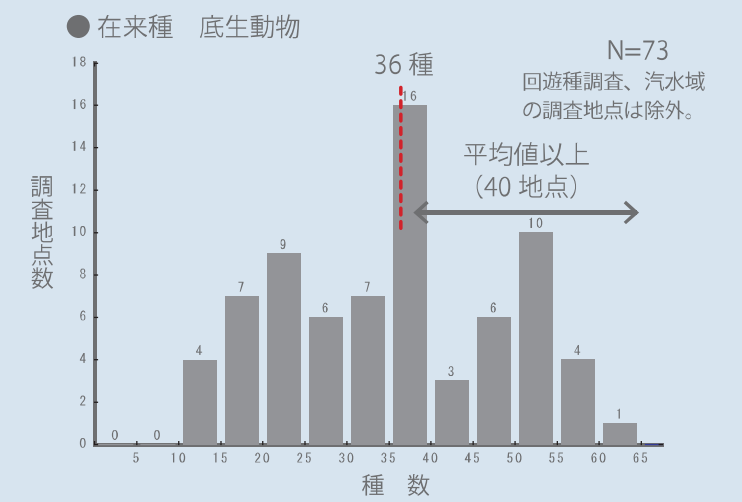
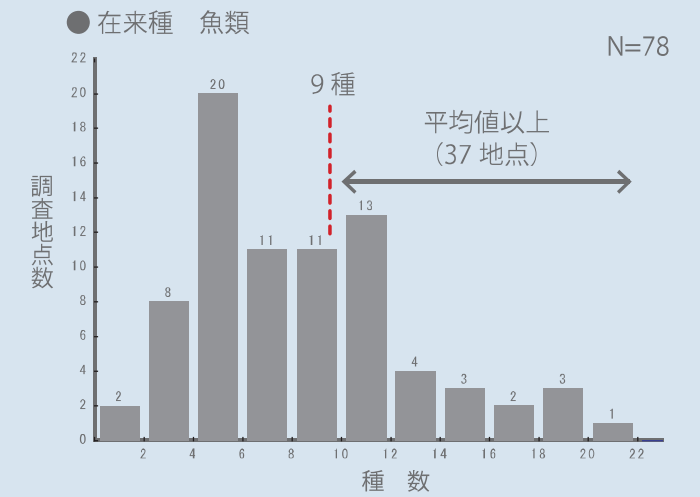
### 優れた「生物の生活空間」の範囲の抽出



\* 魚類の在来種が生息する場所



\* 底生動物の在来種が生息する場所



- ① 在来種が多く生息する場所を在来種（魚類・底生動物）の種数により地点ごとに評価。
- ② 在来種の確認種数が全地点の平均値（魚類9種、底生動物36種）以上となる地点を優れた「生物の生活空間」として抽出。（魚類37地点217ユニット、底生動物40地点238ユニット）

抽出した場所の特徴 **在来種が生息する場所**

# 視点 6 多様性

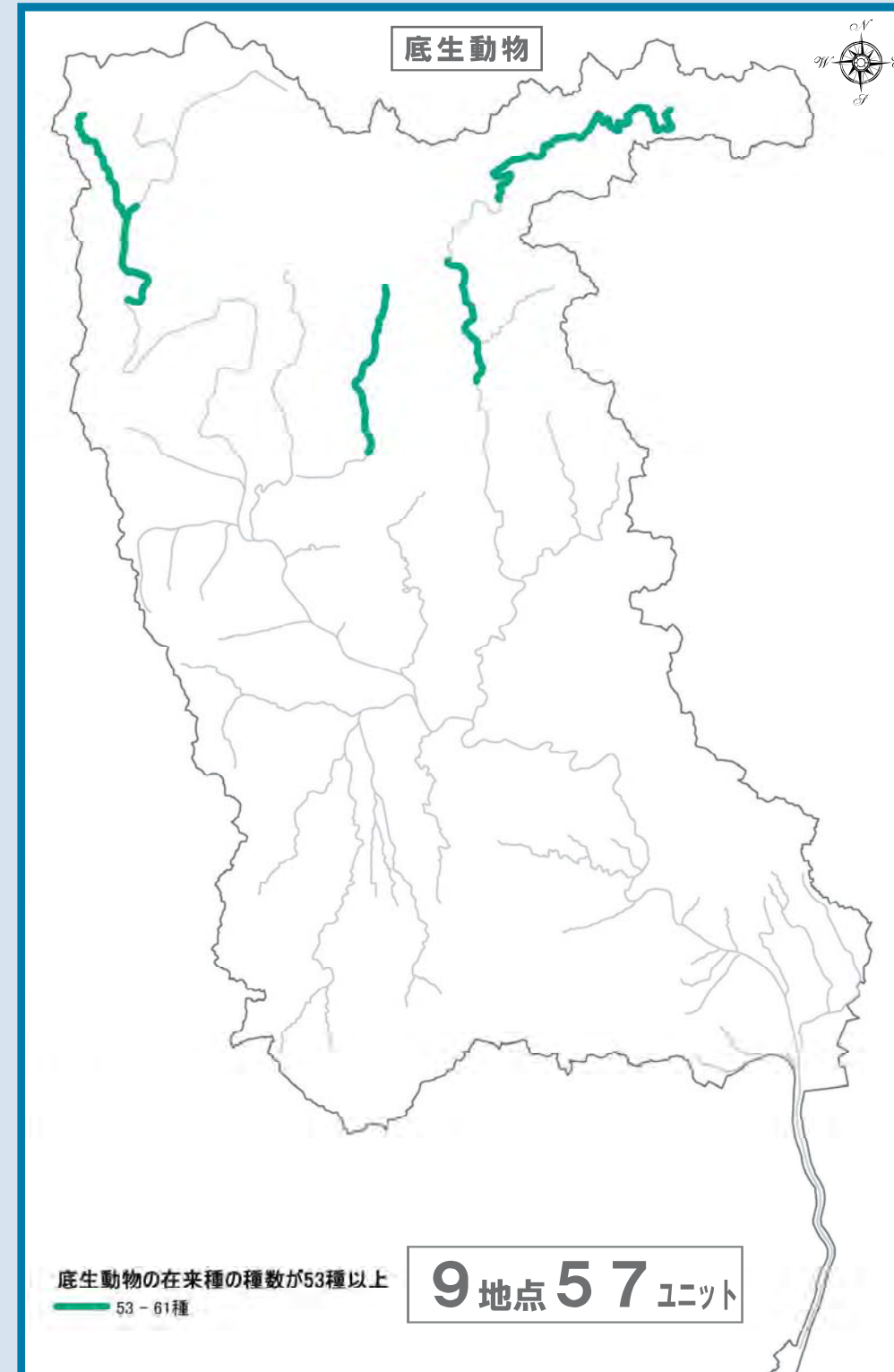
## 6-1 在来種が多く生息する場所

環境要因：－ 生物指標：在来種の種数

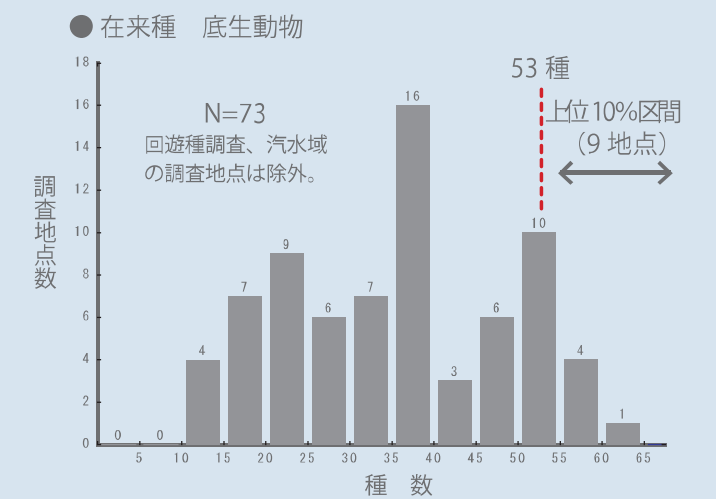
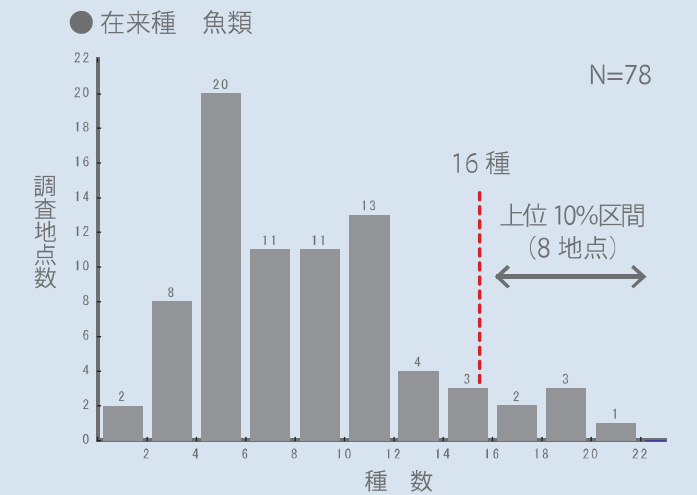
### ■ 中核的な範囲の特定



\* 魚類の在来種が多く生息する場所



\* 底生動物の在来種が多く生息する場所



- ① 地点ごとの在来種の種数と地点数との関係から上位10%区間に相当する種数（魚類16種、底生動物53種）を算出。
- ② ①の種数以上の地点を中核的な範囲とし、総量は魚類8地点50ユニット、底生動物9地点57ユニットとした。

特定した場所の特徴 **在来種が多く生息する場所**